

大学入学志望理由書作文に出現した 「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

——量的な観点から——

前 田 直 子

[キーワード：①希望表現 ②願望表現 ③たい ④たいです ⑤志望理由書]

1. はじめに一初級文法項目を中級・上級文法項目としてとらえ直す意義

日本の大学へ進学することを目指す日本語学習者に必要な日本語の文法とはどのようなものなのだろうか。日本語能力試験のN1やN2で要求される文法項目だけで果たして十分なのだろうか。高梨、他（2017）は、大学院の修士論文草稿に見られる日本語の誤りの多くが初級の文法項目であること、初級の文法項目は初級で習う使い方だけで運用されているわけではないこと、初級の文法項目を中級・上級日本語としての使い方から見直す必要があることを指摘している。

本稿もこうした観点に立ち、初級文法項目である希望¹⁾表現「たい」の丁寧体「たいです²⁾」の使用の適切性について、主に量的な側面から分析を行う。

2. 作文「志望理由書」と「たいです」

2.1 「たいです」の持つ「課題」

日本の大学へ進学することを目指す日本語学習者に必要な日本語の文法項目を探るため、日本語学校の進学クラスに在籍する学習者39名に、大学進学にあたっての「志望理由書」を作文として書いてもらった³⁾。その中に、次のような作文がある。

私は〇〇大学に入りたいです。日本の文化をさらにマスをしていきたいです。日本語専攻の学生として、今日本についての知識はまだ足りません。ですからぜひ〇〇大学に入り、日本の文化を自分自身で感じて日本語のレベルも高めたいと思います。

日本は長い歴史を持っている国です。貴校の日本文化学科があり濃厚な文学雰囲気と全面的な授業方式に大変な魅力を感じますので、ぜひ貴校の日本文化学科を入りたいと考えています。

(後略)

注目したいのは冒頭に出現した「私は〇〇大学に入りたいです。」という文、具体的

には初級文法項目である文末形式「たいです。」⁴⁾である。この文は、文法的には何ら問題はなく、学習者は初級文法として習った項目を文法的に正しく使用している。しかし、この「たいです。」は、「志望理由書」に書く日本語として、特に書き出しに出現すると、やや稚拙⁵⁾な日本語という印象を与えてしまうのではないだろうか⁶⁾。もしそうであるとすれば、この表現の使用は、学習者が持つ日本語能力を適切に反映した表現となつてはならず、この表現の使用は学習者にとって「不利益」を与える可能性がある。それを避けるためには、「たいです。」の代わりにどのような表現を提案したらよieldろうか。また、そもそもなぜ「たいです。」に違和感があるのだろうか⁷⁾。

2.2 「たいです。」の使用にはなぜ違和感があるのか—先行研究—

宮崎 (2006) は、「したい」の基本的なモーダルな意味を話し手の〈欲求〉と規定し、「したい」は文の対象的な内容との関係によって、〈願望〉〈希望〉を表すほか、例文(1)のように、話し手の〈目標〉、〈抱負〉、〈意向〉を語る場合があることを指摘している (pp.56-57)。

- (1) 学生運動のもつ質的な高さ—私自身はその質的な高さをもっていない。それを自らのものとし、自らの創造的な闘争を行いたい。戦後の学生運動について勉強してみよう。学生の闘争は行動においても、その思想においても階級闘争の先端を担っている。(高野悦子「二十歳の原点」)(宮崎 (2006 : 56、例文 20))

そして文体との関連において、次のような重要な指摘を行っている (p.59)。

- (2) 〈抱負〉や〈意向〉を表す「シタイ」の文は、単独で使用される場合と「思う」を述語とする文のなかに引用文として埋め込まれる場合⁸⁾とがある。例えば、(23)、(24)の「選びたい」「書きたい」を「選びたいと思う」「書きたいと思う」とすることも可能である。ただし、独り言などでは、「思う」を伴った使い方はできない。また、丁寧体の文では、逆に、必ず「思う」を述語とする文のなかに埋め込まなければならない(〈願望〉を表す(「シタイ」)の文は、この限りではない)。

(27) 発会した矯風会の最初の仕事は、具体的にどの問題を取りあげ、それをどのようにおし進めるかということであった。

「まず争いのない平和な社会を築く、これを運動の根本に致しましょう」

矢島会頭が立ち上って言った。それには誰も異存はなかった。

「そこで差し当り平和な社会を乱す最大の原因であるお酒、これを

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐる
禁止する運動を起したいと思います」

(渡辺淳一「花埋み」)

この例から引用文を取り出して、「～起したいです」とするのは、不自然である。

「たい」には、〈願望〉を表すほかに、〈抱負〉や〈意向〉を表す場合があるとされるが、志望理由書の「〇〇大学に入りたいです」は、まさに後者である。そして、後者の場合は「たいです」とはならないことが(2)に指摘されている。

これが、志望理由書作文に「たいです」を使用しないように指導する際の「説明」となるだろう。ただし、なぜ普通体「たい」は使えるのに、丁寧体「たいです」に違和感があるのか、その理由は書かれていない。また、「たい」と「たいと思う」の関係は指摘されているが、4.2節に出現する「たいと思っている⁹⁾」との関係はどうかについても、検討の余地がある。

こうした問題を視野に入れつつ、本稿は、「たいです」の問題の所在を明らかにするために、まずは「たいです。」を母語話者と非母語話者がどのように使っているのか、調査を行う。

2.3 「志望理由書」データの収集

データとして採集した作文「志望理由書」は、東京都内にある日本語学校の進学クラスにおいて、2021年6月から7月にかけて、学習者39名から同意書による協力を得て収集した。学習者は2020年または2021年来日し、すべて中国語母語話者である。

作文は、「あなたが進学したい大学に、志望理由書を書くつもりで、400字程度の作文を書いてください」と指示した。この作文を書く前に、「志望理由書」の書き方を指導された学生もいたかもしれないが、今回の調査の前には授業において「志望理由書」の書き方の授業は行っておらず、学習者が書きたいように自由に書いてもらった。

39名の「志望理由書」のうち、1件のみ「志望理由書」とは内容的に無関係である作文¹⁰⁾を書いたものがあったため、今回の調査では、その1件を除いた38件の作文を分析対象とする。

2.4 「志望理由書」に出現した「たい」

38件の作文における「たい」の出現状況は次の通りである¹¹⁾。38件の作文のうち、「たい」を一度も使わなかったものは4件であり、34件が何らかの形で「たい」を使用していた。「志望理由書」というテーマは、「たい」が頻出するものであることがわかる。

「たいです」は丁寧体であるため、作文が丁寧体基調での文体で書かれていることが出現の条件となる。作文を丁寧体で書き、文末形式「たいです。」が出現したものは、23件で、うち17件が作文冒頭で「私は〇〇大学に入学したいです。」のように使用し

ていた。残りの6件は、作文冒頭以外で「たいです。」を使用していた。また、文末形式「たいです。」は使用していないが、「たい」を文中に使用したものは11件あった。

表1 「たいです。」および「たい」を使用した志望理由書

「たいです。」の使用	A	作文冒頭	17	23
	B	作文冒頭以外	6	
「たいです。」は使用していないが、「たい」を使用 (例：たいと思います)	C	作文全体が丁寧体	5	11
	D	作文全体が普通体	6	
計			34	

このように、「志望理由書」作文には「たい」が頻出し、中でも丁寧体の文末形式「たいです。」の、作文冒頭での出現が目立つが、この使用には違和感がある場合がある。本稿は、なぜ違和感があるのか、またどのように解決できるか、複数のコーパスによる調査を通じて検討する。

3. コーパス調査

「〇〇大学に入りたいです。」という文は、それ自体が誤っているわけではない。日本語母語話者が「たいです。」を使わないということでもない。母語話者も使ってはいるが、問題は、どのような場合に使っているか、ということである。母語話者と非母語話者はどのように「たいです」を使っているのだろうか。これらを調査するために、次の7つのコーパス¹²⁾を使用し、母語話者・非母語話者の「たいです」の使用について、調査を行った。

A. 母語話者が「たいです」をどのように使っているかを調べる

- (1) 日本語日常会話コーパス CEJC (データバージョン 2022.03)
- (2) 名大会話コーパス NUCC (データバージョン 2018.02)
- (3) 日本語話し言葉コーパス CSJ (データバージョン 2018.01)
- (4) 現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ (データバージョン 2021.03)

B. 母語話者と非母語話者の「たいです」の使用にどのような違いがあるかを調べる

- (5) 多言語母語の日本語学習者横断コーパス I-JAS (データバージョン 2022.05)
- (6) YNU 書き言葉コーパス¹³⁾
- (7) JCK 作文コーパス¹⁴⁾

3.1 母語話者は「たいです」をどのように使っているか

(1) 日本語日常会話コーパス CEJC

初級日本語教育の第一の学習対象は日本語の話し言葉である。よって、まずは母語話者の話し言葉において、「たいです」がどのように使用されているかを調べるために、CEJCを使用して、母語話者「たいです」の使用状況を調査した¹⁵⁾。その結果、「たいです」は62例が検出され、「たいです」の後ろに出現した形式は次のようになる。

表2 CEJC

「たいです」の後ろに出現した形式		出現数	%
ね		19	30.6%
よ	よ	3	4.8%
	よね	12	19.4%
か	か	7	11.3%
	かね	1	1.6%
って		6	9.7%
けど		3	4.8%
もんね		3	4.8%
と	と	1	1.6%
	とか	2	3.2%
みたいな		2	3.2%
からね		1	1.6%
どう		1	1.6%
オーラ ¹⁶⁾		1	1.6%
		62	

CEJCでは句点が用いられないので、「。」は出現しないが、「たいです。」に相当する可能性があるのは、表2の網掛け部分、すなわち、「って」(6例)・「と」(「と」1例、「とか」2例)・「みたいな」(2例)の、引用に関わる助詞・表現が続く場合、また、「どう」の1例、19.3%である。

- (1) #はい#うーん#わかり/まし/た#請求/は/どう/する/か#はい#わかり/まし/た#はい#えーっと/えーっと/MEL/へ/行き/ます#えーっと/マカフィ/かもめ島/えー/今/まで/京王/に/駅/の/看板/ビルボード/を/出し/て/まし/た#えー/モノレール/に/出し/たい/です/と#ゆう/こと/で/モノレール/の/かもめ島/

駅の/看板の/製作の/依頼/が/あり/まし/た#

- (2) #えー#そう/な/ん/だ/けど/ね#わたし/もう/次の/こと/やん/ない/と/いけ/ない/の/ね # あー#あれ/を/用意/し/なきゃ#何#富士/山/の/登り/方#富士/山/に/行き/たい/です/どう/し/たら/いい/です/か#何/それ#それ/何#授業/で/やる#富士/山/登り/たい/の#みんな#うん#登ら/ない/人/でしょ#登ら/ない/よ#じゃ/五/合/目/まで/車/で/行っ/て/下り/て/くる/って/やれ/ば#なん/か/富士/山/登る/ツアー/みたい/な/の/の/ある/ん/だ/よ#¹⁷⁾

一方で「たいですね」30.6%、「たいですよ」19.4%の使用が目立ち、「ね」の出現が全体の半数を超えている。母語話者は日常の話し言葉において「たいです。」と言いつ切ることは多くなく、終助詞「ね」などを付加させて使用するほうが多いことがわかった¹⁸⁾。この傾向は、以下に見る他の話し言葉コーパスでも共通する。

(2) 名大会話コーパス NUCC

NUCC に出現した「たいです」は12例のみであったが、CEJC 同様、「たいですね」「たいですよ」「たいですか」が多く、「たいです。」は1例のみであった。

表3 NUCC

ね	3	25.0%
よ	よ	1 8.3%
	よね	2 16.7%
か	2	16.7%
。	1	8.3%
もん	1	8.3%
けど	1	8.3%
って	1	8%
	12	100.3%

NUCC に出現した1例の「たいです。」は次の例文である。

- (3) #遠い/って/、/私/も/かてきょう/、/遠い/ん/です/けど/ね/。#うーん#しかた/が/ない/。#車/の/場合/そんな/に/苦/じゃ/ない/。#本当/に/考え/といて/。#だれ/か/やら/ない/? #私/の/アルバイト/。#あーっ/、/私/ちよつと/考え/たい/です/。#うん/。#1/0/0/0/円/で/ねー/。#私/も/やり/たい/なー/、/で/も/。#何/人/も/いら/ない/です/か/。#1人/です/よ/ねー/。

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

ここに出現した「たいです。」は、「(アルバイトを) 誰かやらない?」と言われて、そのあとすぐに「私、ちょっと考えたいです。」と返答した中に出現したものである。「たいです。」はこのように、その場で思いついた希望を即時的・瞬間的に、また率直に表現するために用いられる形式なのではないだろうか¹⁹⁾。

(3) 日本語話し言葉コーパス CSJ

CSJに出現した「たいです」は46例で、CEJC・NUCC同様、「たいですね」が最も多かった。またCSJでは「たいですし」が2番目に多かった。このコーパスも、CEJC同様、句点は使用されていないので表4に「。」は出現しないが、「たいです。」に相当するものは、「と」2例、「って」1例、「私²⁰⁾」1例のみであった。

表4 CSJ

ね		17	37.0%
し	し	7	15.2%
	しね	2	4.3%
か		6	13.0%
よね		4	8.7%
けど	けども	1	2.2%
	けどね	1	2.2%
と		2	4.3%
から		1	2.2%
私		1	2.2%
ですね		1	2.2%
って		1	2.2%
の ²¹⁾		1	2.2%
も		1	2.2%
		46	100%

- (4) #その/年/の/夏/に/なっ/て/上司/から/おお/ゴルフ/本/コース/そろそろ/出/て/み/ない/か/と/いう/風/に/言わ/れ/て#それ/で/えー/出/たい/です/と#
いう/こと/で/社長/が/ゴルフ/コース/を/おー/那須/の/方/に/持っ/て/て#
で/そこ/に/まー/行く/よう/に/なっ/た/ん/です/ね#
- (5) #あの/緑/の/シーン/あの/木々/が/揺れ/て/たり/と/か/草むら/に/何/か/人/が/走っ/て/たり/と/か/そう/いう/シーン/を/必ず/撮っ/て#後/神社/と/か

/お/墓/と/か/そう/いう/もの/と/か/日本/的/な/もの/と/か/を/よく/使っ/て/る/から#そう/いう/の/も/本/当/本/人/に/会/っ/た/ら/聞/い/て/み/たい/な/っ/て/思/い/ま/す/ね#で/早/く/次/回/作/を/期/待/し/て/ま/す#えー/神/風/タ/ク/シ-を/抜/く/よ/う/な/い/い/作/品/を/早/く/見/たい/で/す/私#え/こ/れ/で/全/部/終/わ/り/ま/し/た/の/で/ど/う/も/あ/り/が/と/う/ご/ざ/い/ま/し/た

例文(4)は、上に見た例文(3)に類似した文脈であることが注目される。

(4) 現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ

母語話者の使用調査の最後として、書き言葉コーパスを調査した。

表5に見るように、書き言葉コーパス BCCWJ では、これまでのコーパス調査結果とは異なり、「たいです。」が最も多く使用されており（1828件／3510件、52%）、その次に「たいですね。」が用いられていた。しかし「たいです。」1828件のうち、1289件（70.5%）は「知恵袋」の使用であり、「たいです。」は「知恵袋」、それから「ブログ」のような話し言葉に近い書き言葉において多く使われていることがわかる。「。」と「ね」が使用されているレジスターを比較するため²²⁾、多いほうに網掛けをすると、次のようになる。両者の使用には、レジスターにより偏りがあることがわかる。

表5 BCCWJ

		出版			図書館	特定目的						総計
		雑誌	書籍	新聞	書籍	ベストセラー	広報誌	教科書	国会会議録	ブログ	知恵袋	
1	。	32	49	3	21	6	48	4	5	371	1289	1828
2	ね	89	72	13	73	15	52	2	3	233	123	675
3	か	15	26		21	2	7	1		30	94	196
4	!	7	2		1					60	72	142
5	が		2	1	1				1	25	54	84
6	」	14	8	2	12	2	22			17	4	81
7	よね		14		2	1				19	43	79
8	・									15	17	32
9	よ	3	2		6	1			1	4	10	27
10	ね～									21	5	26
11	♪									16	7	23
12	し		6						2	6	6	20

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

13	な		2		3	1			1	9		16
14	☆									12	4	16
15	、		2		2					4	7	15
16	ねえ		1							9	4	14
17	から	1	3		2	1				2	5	14
18	…									7	6	13
19	けど	2	2							3	6	13
20	よね～									9	3	12
21	～									9	3	12
22	ねえ	3			2					4		9
23	^^									5	3	8
24	(笑)	3								3	2	8
25	(1	5	6
26	.									3	3	6
27	w									6		6
28	もんね									1	4	5
29	と		1						3			4
30	ねえ～									4		4
31	わ				1					2	1	4
32	ネ		1					1		1		3
33	なあ									2	1	3
34	() _ ()										3	3
35	ねー				1					1	1	3
36	なあ									3		3
37	★									2	1	3
38	けれど		1		1					1		3
39	う									3		3
40	もの									2	1	3
41	っ									2	1	3
42)										3	3
43	って	1								1	1	3
44	しね									1	2	3
45	(* ^ _ ^ *)									1	1	2
46	^-^									2		2
47	よ～									2		2
48	^^;										2	2
49	(^ ^)									1	1	2

50	けどね									1	1	2
51	(^^;)									1	1	2
52	ね～									1	1	2
53	m										2	2
54	(笑									1	1	2
55	><									2		2
56	からね										2	2
57	(苦笑)									1		1
58	お願いします。										1	1
59	;									1		1
60	(^▽^;)									1		1
61	?										1	1
62	か～									1		1
63	のお～									1		1
64	(ク__ク)									1		1
65	よねえ	1										1
66	が～									1		1
67	(^^) b									1		1
68	かー										1	1
69	♡									1		1
70	かね										1	1
71	(*^-^*)										1	1
72	^-^;									1		1
73	(^^ゞ									1		1
74	—					1						1
75	*^-^*。										1	1
76										1		1
77	お									1		1
78	け						1					1
79	(≥3≤)ノ									1		1
80	(>_<。)										1	1
81	(^^) v									1		1
82	^^ v									1		1
83	(→←)ノ									1		1
84	"									1		1
85	(. .)									1		1
86	けれどね										1	1

87	(* ^ o ^ *)									1		1
88	(> _ < ;)									1		1
89	o (^ - ^) o									1		1
90	>				1							1
91	、									1		1
92	(* ^ ▽ ^) ノ									1		1
93	&										1	1
94	::									1		1
95	う									1		1
96	;-;										1	1
97	よねえ										1	1
98	どきどき									1		1
99	よねー										1	1
100	どこ										1	1
101	わね		1									1
102	とも		1									1
103	ナ									1		1
104	きっと									1		1
105	あなた										1	1
総 計		171	196	19	151	30	130	7	16	970	1820	3510
		4.9%	5.6%	0.5%	4.3%	0.9%	3.7%	0.2%	0.5%	27.6%	51.9%	100%

また表5を見ると、「たいです」の後ろに「!」「♪」「★」のような記号、「^^」「(^ ^)」「^ - ^」「><」「(>_<)」「(* ^ _ ^ *)」のような顔文字が出現することも興味深い。なぜこれらの記号が出現するのだろうか。それは、本節(2)のNUCCの調査で見たように、「たいです。」がその場で思いついた希望を即時的・瞬間的に、また率直に表現するために用いられる形式であることを示すのではないだろうか。

出現数において、さらに詳細に見るために、文末「たいです。」と「たいですね」、そして総計の3項目につき、PMW (Per Million Words²³⁾)を算出すると、次のようになる。総数で見てもPMWで見ても、「知恵袋」と「ブログ」で「たいです。」の使用が多いこと、特に「知恵袋」で極端に多く、次いで「ブログ」であること、一方「たいですね」は「ブログ」が最も多く、次いで「出版・雑誌」の順であることがわかった。

表6 BCCWJの「たいです。」と「たいですね。」の比較

		出版			図書館	特定目的					総計	
		雑誌	書籍	新聞	書籍	ベストセラー	広報誌	教科書	国会会議録	ブログ		知恵袋
出現数	。	32	49	3	21	6	48	4	5	371	1289	1828
	ね	89	72	13	73	15	52	2	3	233	123	675
	総計	171	196	19	151	30	130	7	16	970	1820	3510
PMW	。	7.2	1.7	2.2	0.7	1.6	12.8	4.3	1.0	36.6	125.9	
	ね	20.1	2.5	9.5	2.4	4.0	13.9	2.2	0.6	23.0	12.0	
	総計	38.6	6.9	13.9	5.0	8.0	34.7	7.6	3.1	95.8	177.8	

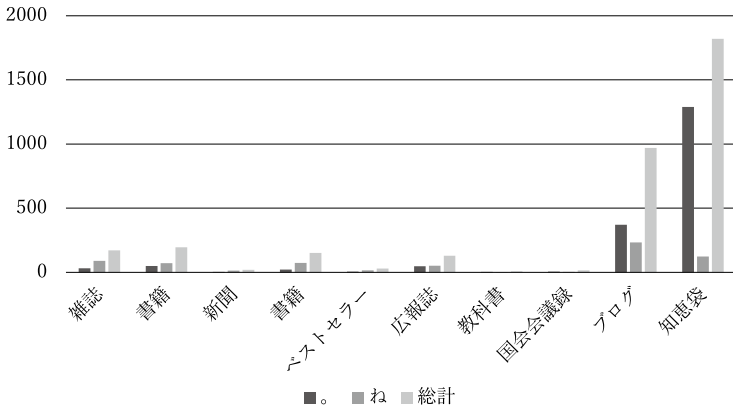


図1 出現数

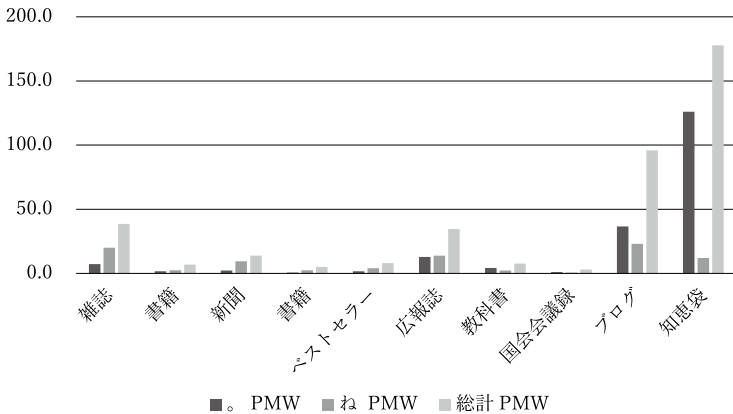


図2 PMW

こうしたレジスターの違いについては、今後の詳細な検討が必要であるが、ここでは「知恵袋」において「たいです。」の使用が多いことについて1点指摘しておく。「知恵袋」は、自分が困っていることを質問するという掲示板であるが、そこでは例(6)(7)のように、「たいです。」で自分の希望をまず述べ、それを状況説明として、読み手に何かを求めるといった文脈で出現している。自分の希望を述べるのが目的ではなく、希望はあくまでも背景説明となっている場合、「たいです。」が自然に用いられていると言える。また、(8)のように、「ていただきたいです。」という言い方で、依頼を表現するものも多い。

- (6) ドラクエ8のことです。神鳥まで入手したところまでストーリーを進めました。この辺でレベル上げと金稼ぎがしたいです。経験値稼ぎはどこがベストですか？
- (7) 「FNN ニュースレポート 6:00」で使われていた音楽の中で、最も好きだと思う曲は何ですか？ 皆様の意見が聞きたいです。私の場合は、オープニングテーマもさることながら、姫神の天気の本GM もよかったと記憶しております。
- (8) 質問なのですが、最近レトロなゲームにはまっているのですが GBC でおすすめのソフトはありませんか？ ジャンルはなんでも OK です。ファミコンやスーファミなどのおすすめソフトも教えていただきたいです。

3.2 母語話者と非母語話者の「たいです」の使用にはどのような違いがあるか

3.1 節では、日本語母語話者の言語使用を調査し、話し言葉では「たいです。」は使われる頻度が低く、「たいですね」であれば使用されていること、書き言葉では「たいです。」の使用にレジスターの偏りがあることを見た。この節では、母語話者と非母語話者が同じ課題に取り組んだコーパスを3つ取り上げ、「たいです」の使用を比べてみたい。

(5) 多言語母語の日本語学習者横断コーパス I-JAS

I-JAS では、協力者に対し数多くの課題が課された結果がコーパスとして使用できるようになっているが、今回は、2022年10月現在使用可能な下記の8課題のデータを用いた。

表7 I-JAS の課題と「たいです」の出現数

		非母語話者		母語話者	
発話データ	ストーリーテリング 1	1050	1050 名	46	50 名
	ストーリーテリング 2				
	対話				
	ロールプレイ 1				
	ロールプレイ 2				
	絵描写		757 名		
作文データ	ストーリーライティング 1	86	1050 名	0	
	ストーリーライティング 2				

出現数は、以下のとおりである。なお、母語話者の作文データに「たいです」は出現しなかったため、表は 8 から 10 の 3 種類となる。

まず発話データについて見ると、非母語話者も母語話者も「たいです」を使用しており、その割合は表 7 に見るようにほぼ同割合（すなわち出現数と話者数がほぼ同じ）であるが、非母語話者データには「たいです。」に相当する形式（網掛け部分）が 40% 以上みられる（表 8）一方で、母語話者は 10% に満たない（表 9）。母語話者は「たいです。」をあまり使用していないということが改めて示された。一方で、母語話者は「たいです ね」が「たいです」使用全体の 58% を超えていること、また言い切らず終助詞や接続助詞を付けて使用していることも、3.1 節の調査と一致する。さらに、作文データを見ると、非母語話者には「たいです。」の使用が見られるが、母語話者は「たいです」の使用が 1 例も見られなかった。母語話者は作文において、「たいです」を避ける傾向があることが明らかになった。

表 8 非母語話者・発話データ

総計	1050							
、	364	34.7%	からー	17	1.6%	よね	4	0.4%
から	114	10.9%	の	13	1.2%	」	4	0.4%
けど	100	9.5%	ー	13	1.2%	がー	3	0.3%
ね	91	8.7%	はい	10	1.0%	し	3	0.3%
が	88	8.4%	?	8	0.8%	と	2	0.2%
{笑}	83	7.9%	ねー	7	0.7%	私	2	0.2%
か	43	4.1%	よ	6	0.6%	うーん	2	0.2%
けどー	24	2.3%	えー	5	0.5%	けども	2	0.2%
			かー	4	0.4%	あの	2	0.2%

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

うー	1	0.1%
んー	1	0.1%
やっぱり	1	0.1%
けどね	1	0.1%
見	1	0.1%
日本	1	0.1%
ほ	1	0.1%
勉強	1	0.1%
く	1	0.1%
えっと	1	0.1%
暇	1	0.1%
あー	1	0.1%
は	1	0.1%
ちょっと	1	0.1%
はたらい	1	0.1%
ツーリズム	1	0.1%
も	1	0.1%
って	1	0.1%
コート	1	0.1%
あ	1	0.1%
んです	1	0.1%
なんか	1	0.1%
んーっと	1	0.1%
うん	1	0.1%
帰り	1	0.1%
あの一	1	0.1%
行き	1	0.1%
いい	1	0.1%
大丈夫	1	0.1%
そして	1	0.1%
入(はい)	1	0.1%
その	1	0.1%
留学	1	0.1%
それ	1	0.1%
たぶん	1	0.1%
ち	1	0.1%

表9 母語話者・発話データ

総計	46	
ね	27	58.7%
し	4	8.7%
ねー	3	6.5%
けど	2	4.3%
はい	2	4.3%
{笑}	2	4.3%
けどね	2	4.3%
けれど	1	2.2%
か	1	2.2%
けどー	1	2.2%
かね	1	2.2%

表10 非母語話者・作文データ

総計	86	
。	41	47.7%
が	21	24.4%
から	15	17.4%
・	4	4.7%
その	2	2.3%
でも	1	1.2%
、	1	1.2%
けど	1	1.2%

(6) YNU 書き言葉コーパス

YNU 書き言葉コーパスは、中国語母語話者 (C)・韓国語母語話者 (K)・日本語母語話者 (J) それぞれ 50 名が、下記 12 のタスクを行ったものである。「たいです」の使用はタスクの内容に関わる可能性が高いため、「たいです」が使用されたかどうかを含めて、タスクを示す。濃い網掛けをしたタスクは、表 12 の通り、CKJ いずれの話者も「たいです」を使用しなかったタスクである。薄い網掛けをしたタスクは、CK では使用が見られたが、J では使用が見られなかったタスクである。

表 11 YNU 書き言葉コーパスの 12 タスク

■自発型

読み手		長さ A		長さ B	
特定	疎／目上	1	あなたが借りたいと思っている『環境学入門』という本が図書館にはなく、面識のない田中先生の研究室にあることがわかりました。レポートを書くためにはどうしてもその本が必要です。田中先生にそのことをメールでお願いしてください。	4	<p>【非母語話者】あなたは大学の留学生会の代表をしています。留学生会の中から、大学側への要望として、留学生向けの奨学金を増やしてほしいという意見が出ています。学長にメールでこれまでの経過を伝え、奨学金増額の必要性について説明し、要望を述べてください。</p> <p>【母語話者】あなたは大学の学生自治会の代表をしています。学生総会で、大学側への要望として、学生向けの奨学金を増やしてほしいという意見が出ています。学長にメールでこれまでの経過を伝え、奨学金増額の必要性について説明し、要望を述べてください。</p>
	親／同僚・友人	2	あなたが借りたいと思っている『環境学入門』という本が図書館にはなく、仲の良い鈴木さんが持っていることがわかりました。レポートを書くためにはどうしてもその本が必要です。鈴木さんにそのことをメールでお願いしてください。	5	あなたの後輩は、交通事故に遭い、もう2カ月も入院しています。就職活動や卒業論文の時期が近づき、将来に不安を感じているようで、相談に乗ってほしいと頼まれました。実はあなたも後輩と似たような経験をしたことがあります。自分の経験を踏まえ、後輩に励ましの手紙を書いてください。
不特定		3	あなたはデジタルカメラの普及についてのレポートを書きましたが、先生にA社についてのグラフの説明を加えるように言われました。下記の文に続けて、このグラフの内容を説明する文章を書いてください。 図（省略） 図1は、A社のデジタルカメラの販売台数についてのグラフである。	6	経営難のため、あなたの町では、市民総合病院の閉鎖が検討されています。この病院には近隣の町にはない産婦人科、リハビリテーション科があり、地域住民への影響が心配されます。現行の診療体制での存続を求め、あなたの意見を新聞に投書してください。

■頼まれ型

特定	疎／ 目上	7 指導教授の伊藤先生が休暇であな たの国（故郷）を訪問するそう です。お薦めの観光スポットや 名物を教えてほしいとメールで 頼まれました。詳しく伝えてく ださい。	10 あなたは、英語教育が専門の山 下教授から次のようなメールを もらいました。 教授「〇〇さん 今早期英語教育 に関する意識調査を行っている ところです。小学3年生から週 2時間英語の授業を行うという 計画があります。〇〇さんは早 期英語教育に賛成ですか。それ はなぜですか。 若い人の生の声を聞きたいので 、〇〇さんの意見を教えてください 。〇月〇日までにお返してくだ さい。 よろしくお願いします。」 このメールに対する返事を書いて ください。
	親／ 同僚・ 友人	8 友達と以下のケータイメールの やりとりをしました。 あなた「ねえ、鈴木先輩が救急 車で運ばれた話、知ってる？」 友達「へ、うそ、教えて」 （★上記はケータイメールの画 面により提示。） 先日あなたのクラブの先輩が ちょっとした事件に遭ったとい う話を聞きました。（4コマ漫画 ）。クラブの友達はその話を 知りません。4コマ漫画を見て 、どんな事件だったか友達に詳 細をメールで教えてあげてくだ さい。漫画の主人公は鈴木先 輩です。	11 あなたは、仲のよい友達（佐藤 さん）から次のようなメールを もらいました。 友達「〇〇さん 今、卒論のため に早期英語教育に関するアンケ ート調査をやったんだけど、も っと具体的な意見を聞きたいな と思って…。今さ、小学3年生 から週2時間の英語の授業をや るっていう計画があるんだけど 、知ってるよね。 〇〇さん、早期英語教育に賛成 する？それとも反対？理由も 教えてくれるかな。〇月〇日 までにメールで返事もらえる とうれしいんだけど。よろしく お願いします。」 このメールに対する返事を書いて ください。
不特定		9 【非母語話者】あなたは、町の 国際交流センターの広報紙で、 「国の代表的な料理を紹介す る」というコーナーの執筆を 依頼されました。あなたの 国の代表的な料理の一つ選ん で、どんな料理か、どうやって 作るのか、どんな時に食べる のか、などを詳しく書いてくだ さい。 【母語話者】あなたは、町の 国際交流センターの広報紙で、 「日本の代表的な料理を紹介 する」というコーナーの執筆 を依頼されました。日本の 代表的な料理の一つ選んで、 どんな料理か、どうやって 作るのか、どんな時に食べる のか、などを詳しく書いてくだ さい。	12 【非母語話者】あなたは、小学 校新聞の昔話コーナーで、あ なたの国の昔話を書いてほ しいと頼まれました。新聞の 発行が7月なので「七夕伝説」 のストーリーを書くことに しました。小学生にわかるよ うに、どのような話が詳しく 書いてください。 【母語話者】あなたは、小学 校新聞の昔話コーナーで、今 の季節に合う昔話を書いて ほしいと頼まれました。新聞 の発行が7月なので「七夕伝 説」のストーリーを書くこと にしました。小学生にわかる ように、どのような話が詳しく 書いてください。 （★事前に母語による「七夕 伝説」を読ませておく。）

それぞれのタスクで、「たいです」がどのように使用されたかをまとめると、次のようになる。すべて使用者は異なり、同じタスク内で同一の協力者が2度使用したケースは見られなかった。母語別にみると、Cは26件、Kは15件出現したのに対し、母語話者Jの使用は7件である。よって、どのタスクでもC・KのほうがJよりも使用が多い（すなわち、表12の「C+KとJとの差」が+となる）はずだが、タスク5だけ、Jのほうが1例だけであるが使用が多いという興味深い結果となっている。

表12 YNU 書き言葉コーパス

		C		K		C+K 計	J			C+Kと Jとの差	
		文末	非文末	文末	非文末		文末	非文末	J計		
task 1	1	4	4	3	3	14	0	0	0	+	J無使用
task 2	2	3	1	0	0	4	0	0	0	+	J無使用
task 3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CKJ無使用
task 4	4	5	1	2	0	8	1	0	1	+	
task 5	5	1	0	0	0	1	2	0	2	-	
task 6	6	1	0	1	0	2	1	0	1	+	
task 7	7	3	0	4	0	7	2	1	3	+	
task 8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CKJ無使用
task 9	9	0	0	1	1	2	0	0	0	+	J無使用
task 10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CKJ無使用
task 11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	CKJ無使用
task 12	12	1	0	0	0	1	0	0	0	+	J無使用
		18	6	11	4	39	6	1	7		
		24		15			7				

なぜタスク5ではJのほうの使用が多いのだろうか。タスク5に出現した例を示すと次のようになる。

- (9) 私も同じような経験がありましたので、早く回復するために私は以下のようなアドバイスをしたいです。(C)
- (10) こっちは、○○がいなくてとっても淋しいです。一日も早く元気な姿を見たいです。(J)
- (11) 今度病院にお見舞に行っていかな？ 久しぶりに会って話したいです。(J)

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

タスク5は「事故に遭った後輩を励ますメール」を書く課題であった。Cの例「アドバイスをしたいです」には違和感があるが、Jの例文にはそれがない。Cの例文は自分がこれから行う行動を予告するような場合に使われており、宮崎（2006）の言う〈目標〉・〈抱負〉・〈意向〉を表している。そのため、「志望理由書」に出てきた「たいです」と同様に、違和感があるのであろう。それに対し、Jの「一日も早く元気な姿を見たいです」「久しぶりに会って話したいです」は、現在の状況で書き手が抱いた率直な感情を瞬間的に表現したもの、すなわち宮崎（2006）の言う〈希望〉〈願望〉の「たい」であり、そのため「たいです」でも不自然ではないと考えられる。

(7) JCK 作文コーパス

JCK 作文コーパスは、説明文・意見文・歴史文という3つのタイプの文章（3つのトピック）について、日本語母語話者・中国語母語話者・韓国語母語話者それぞれ20名分の作文を集めたコーパスである。それらの作文に出現した文末「たいです。」は次の通りであった。YNU 作文コーパスの場合とは異なり、同一の作文に複数回「たいです。」が出現したものがあつたので、使用者数も別に示す。

表 13 JCK 作文コーパス

		C		K		計	
		J		J			
		使用 者数	出現 回数	使用 者数	出現 回数	使用 者数	出現 回数
説明文	自分の故郷について	0	1	4	5	5	6
意見文	晩婚化の原因とその展望について	0	3	1	2	4	8
歴史文	自分の趣味について	0	3	7	9	10	15
		0	7	10	16	17	28

まず注目されるのは、I-JAS の作文データと同じく、J の作文に「たいです。」は一度も出現しなかったことである。それに対し、C・K には、それぞれ上のように出現している。

J は文末「たいです。」は使用していないが、文中の「たい」は出現する（例：たいと考える）。J に「たいです。」が出現しない理由は、作文に普通体が多いことが理由であるとも言えるが、作文の文体の分布は表 14 の通りである。K の「たいです。」の出現数の多さは、K の作文が丁寧体で書かれたものが多かったことと関係するが、しかし、C は、普通体・丁寧体の比率は J と変わらないものの、「たいです。」の出現数（cf. 表 13）は K と同程度であった。このことから、文体に関わらず、非母語話者に「たいです。」を作文で使用する傾向があることがわかる。

表 14 JCK 作文コーパスの文体

		J		C		K	
		普通体	丁寧体	普通体	丁寧体	普通体	丁寧体
説明文	自分の故郷について	14	6	15	5	1	19
意見文	晩婚化の原因とその展望について	16	4	15	5	6	14
歴史文	自分の趣味について	14	6	12	8	2	18
		44	16	42	18	9	51

3.3 コーパス調査のまとめ

以上、7つのコーパスを調査した結果をまとめると、次のようになる。

- (1) 母語話者は話し言葉において「たいです。」と言い切る表現をあまり使っていない。代わりに使用されているのは「たいですね」「たいですし」のように終助詞・接続助詞を伴う表現である。
- (2) このことから、話し言葉教育を主眼とする初級日本語教育において、「たいです。」という表現を教える際には、何らかの注意が必要となることが示唆される。
- (3) 書き言葉についても、母語話者の作文では「たいです。」はほとんど使用されていない。また書き言葉コーパスでは終助詞が使われにくいいため「たいですね」よりも「たいです。」のほうが多く使用されているが、使用できる「たいです。」は、意味や文脈に特徴が見られる。
- (4) このことから、中・上級日本語教育の書き言葉の指導において、「たいです。」という表現が出現した際には、使用の抑制を含めた指導が必要となることが示唆される。

3.2節において、非母語話者が「たいです。」を母語話者よりも多く使用する様子を見たが、その原因は、教育・指導そのものにあることが予想される。よって次節では、初級日本語教科書2種の「たいです」の教え方を見て、その原因を探り、またどのように注意していくことが可能か、検討する。

4. 日本語教科書ではどのように「たいです」を教えているか

4.1 『みんなの日本語 初級Ⅰ（第2版）』第13課²⁴⁾

『みんなの日本語』第13課で教えられる「たい」の例文を記すと次のようになる。基本的には「たいです。」の形で教えていることがわかるが、注目すべきは「会話」と「練習C.2」で「ね」の付いた「たいですね。」が使われていることである。この教科書では、

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

実際の会話では「たいです。」ではなく「たいですね。」の使用が多いことを示しているのではないか。一方で、現場の教員に対して、このことがしっかり伝わっているとは言いがたいのではないだろうか。

文型 2. わたしはすしを（が）食べたいです。

例文 2. 夏休みはどこへ行きたいですか。……沖縄へ行きたいです。

3. きょうは疲れましたから、何もしたくないです。……そうですね。今日の会議は大変でしたね。

会話 「別々をお願いします」

山田：もう 12 時ですよ。昼ご飯を食べに行きませんか。

ミラー：ええ。

山田：どこへ行きますか。

ミラー：そうですね。きょうは日本料理が食べたいですね。

山田：じゃ、「つるや」へ行きましょう。（後略）

練習 A 2.

わたしは カメラを かい たいです。

 家族に あい

 外国で はたらき

あなたは なにを し ……………か。

3.

いき	たい	です	いき	たくない	です
たべ	たい	です	たべ	たくない	です
けっこんし	たい	です	けっこんし	たくない	です

練習 B 3. 例：→ すき焼きを食べたいです。



4. 例：何を買いますか（自転車）→ 何を買いたいですか。……自転車を買いたいです。

1) いつ北海道へ行きますか（2月）→

2) 何を習いますか（生け花）→

3) 誰に会いますか（両親）→

4) 何を食べますか（何も）→

5) どんな本を読みますか（旅行の本）→

- 練習C 2. A：のどがかわきましたね。
B：ええ、何か飲みたいですね。
A：あそこで何か飲みませんか。
B：ええ、そうしましょう。

4.2 『初級日本語 げんき I (第3版)』第11課

『初級日本語 げんき』第11課で教えられる「たい」の例文を記すと次のようになる²⁵⁾。『みんなの日本語』同様、「たいです。」という言い切りの形が代表的な形として使われているが、『みんなの日本語』とは異なり、終助詞の付いた形は提示されていない。

会話

- I ゆい : メアリーさん、久しぶりですね。休みはどうでしたか。
メアリー : すごく楽しかったです。北海道で動物園へ行ったり、買い物をしたりしました。
ゆい : いいですね。私も旅行したいです。(後略)
- III ジョン : (前略) ゆいさんはどこの出身ですか。
ゆい : 長野です。今度遊びに来てください。食べ物もおいしいですよ。
ジョン : ぜひ、行きたいです。

Grammar

(1) ～たい

You can use a verb stem (the verb form that goes before ます) + たいです to describe your hope or aspiration.

今度の週末は、映画を見たいです。 or 映画が見たいです。

いつか中国に行きたいです。

(中略)

If your wish is one you have entertained for some time, that is, if you “have wanted to”, you can use たいと 思っています instead of たいです.

留学したいと 思っています。

(後略)

練習

- ① ハンバーガーを食べたいです。
A. Change the following phrases into ～たい sentences.
Example ハンバーガーを食べる
(はい) → ハンバーガーを 食べたいです。
(いいえ) → ハンバーガーを 食べたくないです。

1. 湖に行く (はい)
2. 日本語を練習する (はい) (後略)

B. Pair Work—Ask if your partner wants to do the things above. When you answer, give reasons as in the example.

A : ハンバーガーを食べたいですか。

B : はい、食べたいです。おなかですいていますから。

いいえ、食べたくないです。さっき食べましたから。

F. Complete the following sentences.

1. 今日はいい天気だから、_____たいです。
2. あしたは休みだから、_____たいです。
3. 疲れたから、_____たくないです。(後略)

⑦ まとめの練習

A. Talk about your dream for the future or what it was when you were a child.

- 1 あなたの夢は何ですか。

Example : 私は料理が好きだから、将来、シェフ (chef) になりたいです。

そして、日本でレストランを作って、そこで料理したいです。(後略)

C. Class Activity—Bring pictures of your hometown and describe it.

Example : 私はロンドンの出身です。ロンドンとはとても大きくてにぎやかです。

きれいな公園や有名な美術館やたくさんの劇場 (theater) があります。

よくミュージカルを見たり、散歩したりしました。

夏休みに帰って、友だちに会たいです。

『初級日本語 げんき』で注目すべきは、「会話」ⅠとⅢに出現した「たいです。」である。上に見るように、Ⅰの「いいですね。私も旅行したいです。」とⅢの「ぜひ、行きたいです。」は、その場で新たに出てきた状況 (メアリーさんの北海道旅行の様子、ゆいさんの出身地の情報) を受けて、瞬間的に自分の希望を表出する場合である。そのような場合には「たいです。」の使用は不自然ではない。教科書はこうした例をうまく取り入れていることから、逆に言えば、こうした場合でないと「たいです。」が自然に使えないことが示されているのではないだろうか。

さらにもう一点興味深い点がある。『げんき』は Grammar のところで、「自分の希望がある程度の期間継続している場合は「たいと思っています²⁶⁾」を使う」と説明している。これは逆に言えば「たいです。」は、そうではない場合に使うということになるが、

しかし「たいです。」の持つこうした特徴（今後さらに検討が必要であるが）は特に説明されていない。

「たいと思っています」の説明がある点は特筆すべき点であるが、これは次のような事情があると推察することができるかもしれない。「たいです」を教えた際、「大学を卒業したら、どんな仕事をしたいですか？」という問いを行ったところ、学習者が「国へ帰りたいです。」「日本の会社に勤めたいです。」のような回答をする。こうした場合に、「たいです。」ではなく「たいと思っています。」を使わせたいと考えたのではないだろうか。しかしながら、「たいと思っています」の練習問題はなく、産出は求められていない。V「まとめの練習」のA.1.では「たいと思っています」を使用してもよい場面であると思われるが、「たいです。」の練習にとどまっている。

4.3 日本語教科書調査のまとめ

初級日本語教科書2種において、3節のコーパス調査によって明らかになったことの一部が反映されていることが明らかになった。終助詞「ね」が付いた形式が導入されたり、その場で新たに出てきた状況や相手からの問いかけを受けて、瞬間的に自分の希望を表出するような例文、すなわち「たいです。」の使用が適切である状況が使われたりしている。また「たいです。」が不適切になることを予想していると推察される文法説明もあった。これらは経験豊かな教材作成者の知見が生かされたものと見なせるのではないだろうか。しかし一方で、そうした配慮や「たいです。」の持つ特徴・注意点が、現場の教員や学習者に明示的に伝わっているとはいいがたい。初級日本語教科書で「たいです」を扱う際に、そこまで教えることは困難であることも予測されるが、現場の教授者は、「たいです。」にこのような特徴があることを知り、教科書が行っている工夫をよく読み取る必要があるのではないだろうか。

5. 学習者が志望理由書で使用した「入りたいです」とは別の表現

これまで、「たいです。」を母語話者や学習者がどのように使って来たか、そして学習者の使用のルーツを探るために初級日本語教科書で「たいです。」がどのように扱われているかを見てきた。その結果、志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」の違和感の理由は次の2点であるとまとめられる。

- ①「たいです。」という言い切り表現は、話し言葉であれ、書き言葉であれ、母語話者はあまり使用していない。
- ②〈目標〉・〈抱負〉・〈意向〉、すなわち将来において自分が行う行為を表したい場合、丁寧体「たいです。」は使用しない（宮崎 2006: 59）。

では一体どのように書けばよかったのだろうか。最後にこの問題を取り上げる。

この問いの答えとして第一に、作文を普通体で書くことが挙げられる。普通体「私は

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

「〇〇大学に入りたい。」は不自然ではないからである。しかし、丁寧体で書きたい場合はどうしたらよいただろうか²⁷⁾。

その答えは、他の学習者の「志望理由書」作文の中にある。例えば次のような表現が、その答えになるのではないだろうか。

(A) 名詞文型

(10) 私の志望大学は多摩美術大学と武蔵野美術大学です。

(B) 動詞文型 (目指す・志望する・志願する)

(11) 私は公認心理師を目指しています。

(12) 将来は××大学の経済学部を志望します。

(13) 法律の専門知識を体系的に学びたいと思い、貴学の法学部を志望する。

(14) 私は、服の作るが好きですから、多摩美術大学のテキスタイルデザインに入学を志願いたします。

(15) 地域格差と経済格差によって教育格差を解決するため、私は貴学の文化構想学部社会構築論系を志望した。

(C) 理由を表す名詞述語文型

(16) 貴学科を志望するに至った理由は数学と物理、そして工学における最先端知識を徹底して学べると考えたためである。

(17) 私は教育学科に志望した理由は、知識だけでなく、人間としての生き方や、在り方も教える教師になりたいからである。

(D) 「たい」使用型

(18) 私は生物学を目標としています。そのために貴族で生物学の基礎知識と教養を得たいと考えています。

(19) 貴校の日本文化学科があり濃厚な文学雰囲気と全面的な授課方式に大変な魅力を感じますので、ぜひ貴校の日本文化学科を入りたいと考えています。

これらの文は、志望理由書にふさわしい文である。中でも(A)~(C)で「たい」を使用していないことが注目される。こうした学習者の例を、クラスに対しフィードバックしていくことが、まずは最初の指導としてふさわしいのではないだろうか。

6. おわりに

大学進学を目指して日本語学校で学ぶ学習者が、志望理由書において「〇〇大学に入りたいです。」と書くことは自然なことである。しかしこの表現は、志望理由書に使われると、学習者の持つ日本語能力を低く見せてしまわないだろうか。このような問題意識のもと、本研究では7つのコーパスを使用して、母語話者と学習者の「たいです。」

の使用を調査した。その結果、母語話者は「たいです。」と言いつ切る表現をあまり使用していないこと、代わりに「たいですね。」がよく使われていること、「たいです。」が自然に使用される場面・状況・文脈には特徴があることを見てきた。この「たいです。」が自然に使用される場面・状況・文脈については、今後、詳細な検討を行いたい。

「たいです」に限らず「イ形容詞+です」という言い方は、日本語の中に定着した歴史が浅く、「幼さ」を感じさせ、そのため待遇的に「失礼」に響くことがある。日本語学習者が使用する場合、文法的に誤っていないだけに、教授者は不自然さを指摘しにくく、結果的に「被害」の大きい表現になってしまう可能性がある。「たいです」は初級の文法項目の中でも、おそらく教授者も学習者も簡単に教え、習い、その後のフォローアップがない、という典型的な「簡単に見える文法項目」であろう。そのため、中級・上級に進んで、問題が顕在化することが予想される。初級文法項目の「再学習」(高梨2021: 17)・「リカレント学習」の重要性が指摘される中、「たいです」についても最初の教え方、そしてその後の取り上げ方を検討する必要がある。

注

- 1) 「たい」の意味については、「希望」と「願望」がよく使用されるが、本稿は、高梨(2010: 171 脚注1, 2022: 16)に倣い、「希望」を使用する。
- 2) 「たいです」は「たい」の丁寧体であるが、それ以上のことが日本語教育において指摘されることはあまりなく、例えばグループ・ジャマシイ(1989)にも記述はない。
- 3) このデータ収集は、大学入学のための「志望理由書」の書き方の習得等を調査することを目的とはしていない。あくまでも日本語学校の大学進学クラスに在籍する学習者が持つ日本語学習上の課題を探るために、その素材として、協力してくれる学習者にとって意味のあるテーマ、学習者にとって書くことが必要となる題材は何か、という観点から「志望理由書」を選定した。よって、事前に指導理由書の書き方の指導は行わず、学習者が自由に書いた作文である。ただし、中には同様の文章を以前に書いたことがある学習者、あるいは指導を受けたことがある学習者がいた可能性はある。
- 4) 「たいです。」は文末の使用を表し、「たいです」は文末・非文末を問わず、「たいです」の使用を表す。
- 5) 例えば、次のような指摘がある。「[～したいと思う。]という意味で、[～したいです。]と言わない。[～したいと思います。]もしくは、[～したいと考えています。]のように書くと幼稚くさくならない。」(cf. ねこの小論文・作文講義 (https://www.syouron.com/nekoron/?page_id=13))
- 6) この表現に違和感を持たない日本語母語話者もいるかもしれない。また大学生のレ

大学入学志望理由書作文に出現した「〇〇大学に入りたいです。」をめぐって

ポートなどにもこの表現は出現する。どの程度の人が、どの程度の違和感を持つか、どのように感じるかは調査が必要である。また、この冒頭文が「わたしは〇〇大学に入りたい。」と普通体で言い切られていれば、さほど違和感がないと思われる。丁寧体「たいです」と普通体「たい」は単に文体の違いであるという以外の相違を持つのではないかと考えられるが、詳細は今後、さらに検討したい。

- 7) 森山 (1998) は、パーティの挨拶として「乾杯したいと思います」に対し、「乾杯したいです」は適切ではないことについて、「話し手の希望という純然たる主観的内容の発話が公的な場でなされることはあまり適切ではないのではないだろうか(特に話題として取り上げられているような場合は別かもしれない)。これは社会的な文体として考える必要がある。」(p.112)、「こうした社会的文体の変異については、社会言語学的な観点も含めて、さらに深く検討していく必要がある。」(p.113) と述べている。
- 8) 「思う」を述語とする文に引用文として埋め込まれる場合に関しては、森山 (1992)、宮崎 (1999, 2001) にも指摘がある。また、「したいと思う」の機能を分析したものに徐 (2001) がある。
- 9) 4.2 節において、初級日本語教科書『初級日本語 げんき』が「たいです」を教える際に「たいと思っています」も取り上げていることを見るが、確かに、志望理由書作文に出現した「たいです」は「たいと思います」よりも「たいと思っています」と置き換えるほうが適当と考えられる。
- 10) 内容は、自身が考える「望ましい日本語学習」についてのものであった。
- 11) この表は「たいです。」の出現数ではなく、「たい」を使用した作文が何件あったかを表す。1 件の作文の中で 2 回以上「たい」が出現した場合も、冒頭に「たいです。」が出現していれば、A としてカウントした。
- 12) (1) から (5) は、国立国語研究所 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/> から、中納言 2.7.0 を使用した。
- 13) 金澤 (編) (2014) 参照。
- 14) <http://nihongosakubun.sakura.ne.jp/corpus/> 参照。
- 15) 国立国語研究所のコーパス検索アプリケーション「中納言」を使用した際はすべて、短単位検索を使用し、検索条件は次の通りである。
 - ・前方共起 1 「キーから」 「3 語」、 「品詞」 の 「大分類」 が 「動詞」
 - ・前方共起 2 「キーから」 「2 語」、 「語彙素」 が 「たい」
 - ・前方共起 3 「キーから」 「1 語」、 「語彙素」 が 「です」 AND 「書字形出現形」 が 「です」
 - ・キー 「キーの条件を指定しない」
- 16) 「あたし/たち/九/時/に/(帰り)/(たい)/(です)/オーラ/は/すごく/出/てる/よ」

- 17) 例(2)の「たいです。」は、後述する BCCWJ の「知恵袋」に出現する例(6)(7)の「たいです。」と同じタイプであるとみなせる。
- 18) 「たい」の使用において終助詞等が付加されることが多いことは徐(2001: 71)でも指摘されているが、しかし、普通体と丁寧体との違いについては注目されていない。
- 19) これらは宮崎(2006)の言う〈希望〉〈願望〉の「たい」であると考えられるが、〈希望〉〈願望〉の「たい」がどのような文脈で用いられるかは、検討の余地がある。
- 20) 「たいです、私」のような言い方がなぜ自然なのかについては、今後の課題としたい。
- 21) 「の」およびその下の「も」はいいよどみ的に音声が入挿されているとみられるタイプであったが、詳細は元のコーパスを参照されたい。
- 22) 実際には、「！」や顔文字のように「。」に相当するものがあり、また「ね」に相当するものとして「ね〜(No.10)」や「ねえ(No.16)」もあるが、ここでは句点と「ね」に限定して考察する。
- 23) 各レジスターの総語数は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』語彙表 ver.1.1 解説』の表4(短単位の語数(延べ語数))による。(cf.file:///C:/Users/nmaed/Downloads/BCCWJ_frequencylist_manual_1_1%20(3).pdf)
- 24) 以下、教科書の引用に際し、漢字のルビ、および分かち書きを省略した。また一部の「たいです」に下線を付した。
- 25) 否定形・過去形、第三者の希望(たいと言っています・たがっています)も導入されているが、1人称主語・肯定・非過去形の例文のみ示す。また、漢字のルビは削除し、適宜下線を付加した。
- 26) 宮崎(2006: 59)で指摘された「たいと思う」ではないことに注意が必要である。「たいと思う」と「たいと思っている」の違いについては検討が必要である。
- 27) 今回の作文は、大学入学のための志望理由書であり、その場合は普通体で書くことも珍しくない。だが、学習者は将来、就職・転職などの場面で志望理由書を書くことがあるかもしれない。その場合は丁寧体で書くことになるのではないだろうか。「志望理由書を普通体で書けば問題は生じない」という指導を行ってしまうと、短期的には有効かもしれないが、長期的には学習者にとって利益にならないと考える。

付記

本稿は、科学研究費助成金基盤研究(C)2019-2022年度「気づかれにくい文法的類義表現の研究」(課題番号:19K00637, 研究代表者:高橋美奈子)の助成を受けたものである。

参考文献

- 金澤裕之（編）（2014）『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』ひつじ書房
- グループ・ジャマシイ（1989）『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- 徐愛紅（2001）「希望表明形式による意志表示—日中両語を対照して—」『日本語教育』109、pp.70-79、日本語教育学会
- 高梨信乃（2010）『評価のモダリティー—現代日本語における記述的研究—』くろしお出版
- 高梨信乃・齊藤美穂・朴秀娟・太田陽子・庵功雄（2017）「上級日本語学習者に見られる文法の問題—修士論文の草稿を例に—」『阪大日本語研究』29、pp.159-185、大阪大学
- 高梨信乃（2021）「[母語話者レベルの正確さを目指す文法]の意義」『日本語／日本語教育研究』12、pp.5-20、ココ出版
- 高梨信乃（2022）「[「ないかな」—願望表現の包括的記述にむけて—」『外国語学部紀要』第27号、pp.15-31、関西大学
- 宮崎和人（1999）「モダリティー論から見た「～と思う」」『待兼山論叢』33、pp.1-16、大阪大学
- 宮崎和人（2001）「動詞「思う」のモーダルな用法について」『現代日本語研究』8、pp.111-136、大阪大学
- 宮崎和人（2006）「[「まちのぞみ文」について—「シタイ」と「シヨウ」—」益岡隆志・野田尚史・森山卓郎編『日本語文法の新地平2—文論編』pp.41-61、くろしお出版
- 森山卓郎（1992）「文末思考動詞「思う」をめぐって—文の意味としての主観性・客観性—」『日本語学』第11巻第9号（8月号）、pp.105-116、明治書院

日本語教科書

- 『みんなの日本語 初級 I 第2版』（2012）スリーエーネットワーク編著、スリーエーネットワーク
- 『初級日本語 げんき I 第3版』（2022）坂野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子、The Japan Times.

コーパス検索アプリケーション

中納言 2.7.0（国立国語研究所）<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>

（まえた・なおこ 学習院大学文学部日本語日本文学科教授）